

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 5月30日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3890200029		
法人名	医療法人 仁明会		
事業所名	医療法人 仁明会 グループホーム はとり		
所在地	今治市南宝来町37712 (電話) 0898-34-3837		
管理者	原文香		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	松山市持田町3丁目8-15		
訪問調査日	平成19年5月8日	評価確定日	平成19年6月21日

## 【情報提供票より】 (19年4月23日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 18年 5月 15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	15人, 非常勤 1人, 常勤換算15人

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200 円			

### (3) 利用者の概要(4月23日現在)

利用者人数	17名	男性	3名	女性	14名
要介護1	1名	要介護2	6名		
要介護3	3名	要介護4	6名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 84歳	最低	65歳	最高	96歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定(あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定 あり(なし)	指定認知症対応型通所介護
届出 あり(なし)	短期利用型共同生活介護
加算(あり)・なし	医療連携体制加算

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人病院内の居宅介護支援事業所で管理者がケアマネジャーとして関わってきた利用者が、施設に入ることによってそれまでの関係が途切れてしまうことに心を痛め、馴染みの関係が続くよう願って設立されたホームである。利用者がその人らしく健康で楽しく過ごせるよう、利用者の希望に沿う支援を心がけている。中でも利用者と職員と一緒に楽しく活動できるレクリエーションに力を入れており、毎週日曜日には職員の演奏に合わせて利用者が歌をうたって楽しんでいる。利用者一人ひとりに合った支援で、入居後できることが増えたり、笑顔が増えたりするようになった。

## 【質向上への取組状況】

- ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)  
今回初めての外部評価である。
- ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)  
日常の会話の中で職員から意見を聞き、それを参考にしながら、管理者と計画作成担当者が相談して自己評価している。改正間もない時期での自己評価であったこともあり、職員は自己評価項目を詳しくは理解しておらず、聞かれたことに対して答えている。
- ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)  
第1回はグループホームの理念・サービス提供の方針を説明し、日々の活動内容や入居状況・利用者の状態について報告し、第2回は入居状況や利用者の状態の変化・グループホーム連絡協議会の相互評価の結果について報告した。メンバーからの意見が少なく、地域密着を進めていくための良いアイデアを考えてもらっている。
- ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)  
家族の面会が全体的に多いので、その都度利用者の暮らしぶりについて報告している。また、家族会を結成し、家族からの意見が出やすいようにしているが、家族からは今のところ「ホームはよくやってくれている。」と感謝されている。入居時に苦情等の申し立て先を事業所内と第三者機関に分けて説明し、重要事項説明書にも明記している。
- ▼ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)  
町内会に加入し、地域行事であるお祭りでは、お神輿に来てもらっている。ホーム側も地域の方を呼んで夏祭りを開催し、屋台を出して飲食してもらったり、ボランティアの指導のもと、踊りを楽しんでもらっている。日常的には地域の方と挨拶を交わし、ホームに遊びに来てもらえるよう声かけをしている。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー  
“愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 医療法人 仁明会 グループホーム はとり

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)  
氏名 原文香

評価完了日 平成19年5月30日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)楽しく、健やかに、自分らしく暮らす、事を理念として運営を行っていますが、散歩などで毎日外には出ますが、地域の方たちとの交流が、少ないように思います。 (外部評価) ドーナツ化現象により住民の少ない街中のホームではあるが、地域の中で利用者がこれまでの生活を続け、その人らしく暮らしていけるよう願う管理者の思いが込められた理念である。	※	今後は、地域の盆踊りやバザーだけでなく、その他の行事（お祭りや猪子など）にも参加出来るようにしたいと思います。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)職員間で、理念を共有し日々実践出来るように取り組んでいます。 (外部評価) 玄関に掲げられた理念を出勤の度に確認し、全職員で共有している。また、この理念を利用者の意向に沿うサービスをすることで実践している。	※	より自分らしく暮らすことが出来るように、努力していきます。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 理念を、玄関に掲示して、家族や地域の方にも理解してもらえよう努力している。	※	訪問者の目につきやすいように、玄関正面に運営理念を掲示して、説明を行っている。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価)近隣の人たちと挨拶を交わし、気軽に立ち寄ってもらえるよう声かけを行っている。	※	地域の自治会長さんや住民の方に理解して頂けるよう、声かけを行っている、近隣住民の少ない地域なので、今後も努力していきたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価)自治会、老人会に声かけて、校区の盆踊り大会や住民バザーに、できるだけ参加している。 (外部評価) 町内会に加入し、地域のお祭りでは子ども神輿などが来ている。事業所では夏祭りを開催し、広告を貼り出して地域の方々にも参加してもらっている。	※	今後も、地域の一員としての役割を担っていくようにしたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 昨年は、夏祭りを事業所内で開催し、地域の方に足を運んで頂いた。	※	地域の方も参加できる事業所主催のイベントを作り上げていきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) グループホーム連絡協議会の相互評価事業に参加して、具体的な改善に取り組んでいる。  (外部評価) 外部評価は今回が初めてであるが、その意義を理解し、積極的に取り組んでいる。自己評価については、職員の意見を聞きながら、管理者と計画作成担当者でまとめているが、職員の理解が十分とは言えない。	※	外部評価事業・相互評価事業・家族会などでの様々な評価を生かして運営を行っていききたい。
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議での話し合いを参考にしてサービス向上に取り組んでいる。  (外部評価) 運営推進会議では事業所の理念やサービス方針、利用者の状態やホームの活動について報告し、メンバーに地域とのつながりを密にするための案を考えてもらっている。ただ、2か月に1回開催する予定にしているが、メンバーの日程調整等で開催が遅れがちになっている。	※	もっと頻回に、運営推進介護を設けるようにしたい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) ほとんど運営推進会議での連携になってきているが、わからないことは市役所と相談しながら運営を行っている。  (外部評価) 市役所の担当窓口に事業所の運営面での相談に乗ってもらっている。	※	市役所の職員の方との連携を密にして運営を行っていききたい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 権利擁護事業や、成年後見制度についての研修に参加して、必要な方にはそれが活用できるように、支援をしている。	※	本人や親戚の方からの相談を受けた場合には、権利擁護事業や、成年後見制度の説明を行っている。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 事業所内や利用者の自宅で虐待が起こらないよう注意している。	※	虐待について、もっと職員間で学習の機会を持ち、小さな虐待も見逃さないように介護を行いたい。

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)契約に関しては、重要事項説明書を利用して十分な時間をかけて説明を行い、理解をされてから契約を行っている。	※	今後も、本人家族が納得できるような説明を心がけるように致します。
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)利用者の意見、不満、苦情を話しやすい雰囲気を作っている。	※	面会の制限なく、外部の方も積極的に受け入れを行っております。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価)家族の訪問の度や、状態や健康に変化のあったときにその都度状況報告を行い、金銭管理に関しては、月1回の精算時に家族に対して報告している。 <small>(外部評価) 家族等の面会が多いので、その都度利用者の暮らしぶりや健康状態について報告している。金銭管理については月1回報告しており、面会の少ない家族等の場合も、事業所に来てもらって報告している。また、行事の写真等も居室に飾ったり、郵送したりしている。</small>	※	今年度は、ご家族に対して、定期的な月間報告が出来るように努力していきたい。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)重要事項説明書に、苦情の申し立て先を明示していつでも苦情の申し立てが出来るようにしている。 <small>(外部評価) 重要事項説明書に、苦情等の申し立て先を事業所内と外部に分けて明記している。また、家族会を度々開いて、家族等が意見を話しやすいよう配慮している。</small>	※	家族等の意見を反映するために、御意見箱の設置を検討しております。
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎朝の申し送り時に、ミーティングを行い職員の意見や提案を聞いている。	※	定期的に行われていた、ミーティングが、不定期になってきているため、今後全職員の意見を聞くことが出来るよう機会を設けたいと思っています。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)勤務対応があった度に職員間で話し合っているが、きちんとした書類が残っていないため、きちんとした書類を作成するように努めます。	※	職員の自己都合による急な退職のため、調整した勤務体制が崩れており、ベストの状態に戻せるように努力していきます。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)利用者がなじみの職員に介護を受けられるよう、職員の異動は出来るだけ避けて、離職も避けられるような努力(職員が働きやすいような)勤務を心がけております。 (外部評価) 職員の異動は出来るだけ避けるよう努めているが、やむを得ず職員の離職等があった場合は、担当していた利用者へのダメージを防ぐため関りを多く持つよう配慮している。	※	外部評価直前に職員の急な離職があったため、出来るだけ利用者へのダメージがないようにその人の担当の利用者へ配慮している。
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)職員が必要な研修を受けられるように、また、職業能力の開発が出来るように所内、所外の研修に出席できる機会を作っています。 (外部評価) 事業所開設前に1か月間、認知症高齢者の介護について研修し、事業所外のホームで実習している。また、新しい職員にはマンツーマンで働きながら技術を身につけさせている。職員からの研修受講の希望が少なく、研修報告は、資料と口頭によるものである。	※	職業能力開発推進者を任命して、職員の能力開発に努める所存です。
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)愛媛県グループホーム連絡協議会に入会し、相互評価事業など地域の同業者と交流する機会を持っています。 (外部評価) 県グループホーム連絡協議会に加入し、相互評価事業に取り組んでいる。その評価を受けて、家族会を結成している。また、研修にも参加し、情報交換しながら他ホームの良いところを取り入れている。	※	今年度も、グループホーム連絡協議会に入会しており、引き続いて地域の同業者とともに質の向上を図る所存です。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)親睦会を行い、職員の親睦に努めている。勤務希望を聞くなど、勤務に関するストレスを軽減できるように運営を行っているつもりですが、開設者や、管理者にわからないストレスを発見できるように工夫したい。	※	職員の、ストレス軽減に対する取り組みを今後考えていきたいです。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)職員の努力や向上心に対しては職員全員に平等に機会を与えるようにしている。	※	

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)本人の話を聞いているが、今まで以上に話すことの出来る機会を持つように努力いたします。	※	入所前訪問を、一回だけでなく必要があれば数回もち、本人の求めていることがわかるように努力していきます。
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)相談から利用までに利用者家族と、十分な面談をもち受け止めることが出来るようにしたいと思います。	※	利用者、家族との面接の機会を必要に応じて増やすように努力致します。
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)最初の本人面接時に本人の状態把握を行い、本人により必要なサービスを検討致します。	※	
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)入所を拒否される方には、事前に何度も来所して入所を納得して頂き、だまして入所することのないように、工夫している。  (外部評価) 利用の相談を受けた際には自宅を訪問して話を聞いている。そして、利用者と家族等がホームに来て面談や見学をしている。入居を拒否される方には、何度も納得がいくまで通ってもらっている。	※	利用希望の方には、ホームに何度も遊びに来て頂けるように努力致します。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)入所者の方と一緒に日常生活を過ごしながら、お正月の飾り付けや地方の風習など、お年寄りの知っている知識を教えて頂いている。  (外部評価) 職員は、利用者到手伝いを頼んで、その後お礼の言葉をかけている。一方、利用者も職員にいたわりの言葉をかけて、職員に元気を与え、共に笑顔で楽しく過ごしている。	※	利用者さんのできることは、行って頂き、教えて頂くようにもっと努力致します。
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)家族への声かけを頻回に行い、ともに介護を行う事の出来る関係を築くように工夫します。	※	訪問の少ない家族に向けて、一緒に支援が出来るように家族会などの機会を多く持ち、家族の気安い雰囲気作りを心がけます。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価)本人と家族の関係修復のため、理解し合えるような機会を作りたいと思います。	※	家族との関係の薄い、又は悪化している利用者、家族に向けて会う機会を持つようにし、関係修復に努めたい。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)本人の会いたい人に会える様に援助を行います。会いたい人の名前などを家族にお知らせして会うことができるように助言しています。	※	なじみの人や、場との関係の持続が難しい状態ですが関係の持続が出来るような援助を心がけます。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価)利用者同士の関係を把握し、孤立することのない様職員が関係調整を行っている。	※	ほとんどの利用者同士は、いたわり合い支え合いが出来るようになってきました。しかし、認知症の進行のため徐々に他の利用者との関係維持が難しい方が出てきており、引き続いて関係調整の努力を行います。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価)サービス利用終了後も、ご家族への相談や助言など出来る事は行っている。	※	

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

#### 1. 一人ひとりの把握

33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)どのような場面でも、本人に選択、決定を行ってもらうよう努力している。	※	今後も選択の幅を広げ決定は本人に行ってもらえるような介護を行っていきます。
			(外部評価) 利用者の希望や意向について、気づいた時には業務日誌に書いて申し送りしている。希望の表出の難しい利用者については、家族等から聞いて把握している。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)入所前のケアマネージャーや、家族から本人の暮らし方や趣味などを聞き取り経過の把握を行っています。	※	経過の把握が行えていない方もいるため、把握できるように努力致します。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		



自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)各担当の介護者を決め、ケアマネージャーや、他の介護者とも相談しながら介護計画を立て、家族訪問時に家族からの意見を聞き、本人確認を行って介護計画を作成している。 (外部評価) 入居後、きめ細かなアセスメントシートを作成し、介護計画に活かしている。利用者ごとに担当を決めて、担当者と計画作成担当者が相談して介護計画を作成し、利用者と家族等に意見を聞き、同意を得ている。	※	担当者が責任を持って、その方のよりよい介護計画を立てることが出来るように努めている。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)認知の進行や、体調に応じてケアプランの変更が行われている。 (外部評価) 1週間ごとに、担当者が他の職員の意見も聞きながら介護計画の評価をしている。最初は1か月ごとに見直しをしていたが、現在は3か月ごとに行っている。ただし、状態変化のある時には随時見直している。	※	
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)毎朝の申し送り時に、ミニケースカンファレンスを行い、情報を共有して実践している。	※	今後も記録の充実を図ります。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)併設のデイサービスの行事に参加させて頂いている。退所後の処遇などについては、併設の居宅支援事業所と相談を行っている。 (外部評価) 併設のデイサービスセンターで催される演奏会を聴きに行ったり、リハビリ、マッサージ等している。退居の際には併設の指定居宅介護支援事業所と相談して、退居後の支援をしている。	※	利用者がよりよい環境で暮らすことが出来るように、出来る限りの援助を行います。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価)必要時は連絡を取り、各機関から訪問して頂き協力しながら支援している。	※	ボランティアも来て頂けるように声かけを行っている。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価)小規模多機能ではないため、他のサービスは利用しておりません。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価)権利擁護対象者の判断をして必要があれば、協働しております。	※	ホームの運営推進会議に、地域包括支援センターからの出席をして頂き、協働しています。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価)月1回の往診と定期投薬の受診支援を行っています。  (外部評価) 基本的に通院介助は家族にお願いしているが、隣接の法人病院への通院介助はホームでしており、家族の希望があればかかりつけ医を法人病院に変更している。整形外科や眼科など他の病院へは家族に付き添ってもらい、受診の報告を受けている。また、月1回法人病院医師の往診もある。	※	体調不良時には受診の介助も行っております。
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症の悪化進行があれば受診を行うように、支援している。	※	
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)各ユニットに看護職員がいるため、毎日の管理が出来異常の早期発見が出来ている。	※	必要な方には、認知症専門医からの、訪問看護も受けております。
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 医療機関と連携しており、出来るだけ早期に退院できるように協働している。	※	医療機関からの訪問看護を受け入れ、ホーム内で治療の継続が出来るようにしている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化や終末期に関しては、治療の必要な状態でない限りホームで過ごせるように家族会で報告している。  (外部評価) 看取りに関する指針を医師である運営者と、管理者及び職員が共有している。現在終末期の利用者もいるが、家族に看取り介護について説明し、話し合い、本人と家族の希望に応じている。利用者の状態変化がある度に家族に報告し、その都度今後の方針についての意志を確認している。	※	終末期の方もおり、かかりつけ医、家族、職員全員で方針を共有している。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 入院時期の見極めを行い、受け入れ先を決定してあわてることなく対処が出来るようにしている。	※	
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 退所にあたっては、本人、家族の希望を踏まえ、担当ケアマネージャーと綿密に連絡を取りながら、退所に向けての援助を行っている。	※	他の施設の相談員との連携を図っていきたい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) していないと思います。  (外部評価) トイレ誘導はさりげなく行っている。居室に入る時も利用者の了解を得るようにしており、拒否された利用者の居室へは入室していない。	※	外部評価を行って頂き、ホームの運営が独善的な物になっていないか検討を行って頂きたい。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者にわかるように説明を行い、自分で決定して頂いています。	※	

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 毎日その方の希望を聞きながら介護を行っている。  (外部評価) 利用者の希望を尊重し、出来るだけ早く希望に添えるよう対応している。利用者も入居前より笑顔が増えている。	※	今後も、その方がその方らしく暮らすことが出来るように援助していきたい。
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価)月1から2回のボランティアと、家族対応でなじみのお店に言っている。	※	買い物で、本人の希望する衣服の選択購入援助を行っている。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)献立に気をつけて、利用者と一緒に相談しながら献立作りを行っている。  (外部評価) 1週間分の献立を立てているが、利用者の希望があれば臨機応変に変更して希望に応じている。咀嚼力の落ちている利用者には刻み食で対応している。また、食材の下ごしらえや台拭き等、できることをしてもらっている。	※	調理面では出来る方が少ないため、台ふきや食器の移動、食材の下準備を行ってもらっている。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価)飲み物、おやつなどは本人の好みを聞き日常的に楽しめるように援助しているが、タバコに関しては、敷地内禁煙にしているため利用して頂いていない。	※	水分補給は、希望を聞き、飲み物の種類を用意するように心がけている。
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるように支援している	(自己評価)排泄チェック表を利用して、本人の排泄パターンを把握し、おむつしようが無くなるように援助をしている。	※	トイレ移動の可能な方は、トイレを利用して頂き気持ちよく排泄が出来るような援助をしています。
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)当初は毎日希望する時間帯に援助していましたが、入所者が待たなくなり、朝から入浴希望を出される方もいるようになり、時間が早くなりました。冬季になり皮膚の油分の取り過ぎから掻痒症となる方が増えましたので、現在は原則週3回希望者は毎日の入浴にしております。  (外部評価) 介護度の高い利用者が多いが、入浴台を浴槽の両側に隙間なく置き、手すりを縦横に付け、職員介助で一般浴を楽しんでいる。入浴時間帯は決めておらず、希望する時間に入浴できるように支援している。	※	夏季になれば毎日の入浴も再開する予定です。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)各部屋個室なので、本人の自由な時間に休息することが出来る。	※	夜間は、安眠できるように静かな環境と、室温の調整を心がけております。
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)本人の楽しみごとを見い出して、楽しく暮らすことが出来るような援助を心がけております。  (外部評価) 花の水遣り、食事の準備等できることをしてもらい、感謝の言葉を伝えている。以前出来ていたことが出来なかった時にもプライドを傷つけないよう配慮している。レクリエーションで歌ったり、塗り絵をしたり、花見や地域行事への参加を楽しんでいる。	※	レクリエーションで、カラオケ、音楽療法などほりのある生活支援をおこなっています。
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)買い物に行けるレベルの方は、家族よりお金を預かり好きな物を買に行けるように援助している。		個別に金銭出納帳をつけている。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)本人より外出希望があれば、その日の本人の状態を看護師が判断して外出援助を行っている。  (外部評価) 毎日、近所の公園へ車いすの利用者も一緒に散歩に出かけている。時には、足を伸ばして今治城まで出かけることもある。また、希望があれば食材の買出しや必要な物の買い物に車で出かけている。	※	毎日の近所への散歩を行っている。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 季節毎に梅見やお花見、瀬戸大橋の観光など家族も誘って行くようにしている。	※	頻回に行けるようにしたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) かかってきた電話の取り次ぎや、本人の希望があれば電話をかけることの援助を行っている。	※	

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会制限をなくしており、いつでも自由に入出入りできている。お茶の時間には、訪問者とともにお茶を楽しむことが出来るように援助している。	※	
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束は全く行っておりません、転倒の危険者には、常に見守りで対応をしております。	※	
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵は夜間9時以降以外はかけておりません。  (外部評価) 日中は鍵をかけていない。利用者の出入りは1階サービス職員の職員が見守りをして連絡している。夜間9時以降は鍵をかけて、外部のセキュリティで安全を確保している。	※	
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 目の届きやすい建物の構造になっており、見守りで安全が確認できている。夜間は定期的な巡回を行い安全確認に取り組んでいる。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意に必要な物は、事務室や倉庫で保管している。手指消毒薬など日常的に必要なものは、各洗面所に配備して安全管理に努めている。	※	
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 各個人に合わせて、カーデックスに記入し事故防止に取り組んでいる。	※	ケアプラン上に取り入れている。
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 救急時の連絡方法を徹底している。	※	年に何回か予定を決めて訓練を行いたい。


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の指導者と避難訓練消火訓練を行った。	※	消防署の防火デーに合わせて、利用者も一緒に避難訓練を行っている。
			(外部評価) 各階2か所防火扉があり、利用者の誘導について消防署から指導を受けている。電化調理器具の使用や全館禁煙により、火気取り扱いに注意している。消防署の指導のもと、利用者と一緒に避難訓練を実施している。夜間対応マニュアルを作成し、法人関係者の協力を得る体制にしている。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 日頃の変化を家族が来所した都度お話しし、起こりえるリスクについても検討している。	※	リスクマネジメントの研修を受けているが、これをもっと活用して介護を行いたい。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日検温を行い、本人の状態を確認して、変化があれば主治医の指示を仰いでいる。	※	
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬剤情報をカードックスに貼付し、全職員がお薬の情報についてわかりやすいようにしている。	※	看護師が、薬剤管理を行い、必要時は、病院より薬剤師が指導に来ている。
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄が便秘薬に頼ってしまわないように、寒天・ヨーグルト等を利用し排泄がスムーズに行くように援助している。	※	食材を利用した排泄管理に気をつけている。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 声かけ誘導にて、毎食後歯磨きが出来ている、夜間は、ポリドント洗浄を行っている。	※	歯磨きの出来ない方は、ハミングッドなどを利用して口腔内の清潔に努めている。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量チェックを毎回行い、脱水にならないように1日2回の水分補給時間を設けている。	※	希望に応じて、水分提供を行っている。また、糖尿など食事制限のある方の食事も、血糖や体重を見ながら調整している。
			(外部評価) 栄養バランスやカロリーは、職員の中に栄養士がおり、大体把握できている。糖尿病の利用者については、法人病院の栄養士に時々カロリーチェックしてもらっている。摂取量は毎食記録し、水分確保のために食事に汁物をつけたり、食事以外に2回間食を取っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 手すりの消毒、調理前の手洗いの励行と消毒を行っている。インフルエンザの予防接種を職員利用者に徹底して行った。また、ノロウイルス予防を利用者・職員・外部からの訪問者に対して徹底し施設内で感染例はなかった。	※	お風呂のお湯は、1人ずつ交換して感染の予防に努めている。今年度は感染対策委員会を立ち上げる予定である。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 毎日、買い物に行ったり、八百屋や肉屋・魚屋を利用して新鮮な食材を届けてもらって、新鮮な食材の確保を行っている。	※	今後は、利用者の皆さんと外食も行いたい。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関、玄関周りは家庭的な雰囲気になるように努力しているが、建物の構造上生活空間が2階3階のため、とまどわれる方もある。	※	
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節に応じた、派手すぎない装飾を心がけている。  (外部評価) 併設の1階サービスとは別の玄関で、家庭的な設えで、きれいな花が飾られている。テレビの前に長いソファが置かれ利用者が居心地よく座っている。男性用のトイレをつけて家での生活習慣にも配慮している。全体的に明るく、壁面には季節を感じさせる装飾を施している。	※	今後も、季節季節の花鳥風月を装飾していきたい。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) たたみの部屋があり、気のあったかたで過ごせるように配慮している。	※	
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家族が本人の使い慣れた物を持ち込んで、本人の好みに合わせた、レイアウトにしている。  (外部評価) 寝具を好みの色にしたり、動物の好きな利用者の居室には、猫のぬいぐるみが飾られている。また、歩行訓練の必要な利用者の部屋には押し車が置かれている等、一人ひとりに合った居室になっている。	※	室内装飾も、本人の希望で行っている。



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 気温に応じて、空調の管理を行い、1日1回は窓を開けて換気を行っている。建物の構造上換気扇による24時間換気を各部屋につけ、空気のだよみや臭気対策を行っている。	※	
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 建物はバリアフリー構造で、車椅子の方や足腰の弱い方も安全に生活が出来るように手すりも要所要所に付けている。	※	部屋の戸は全て釣戸の引き戸で少しの力で軽く開くようになっている。夜間は廊下灯が自動で点き安全に移動が出来るようになっている。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 部屋の入り口に花の模様の表札を付け、自分の部屋がわかりやすいようにしている。	※	わからない方には、大きく名前を書いたり、目印になる人形を付けたりしてわかりやすいようにしている。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 各階ベランダや建物の周り、建物裏の花畑等にプランターを置き利用者さんに当番で、水やりを行ってもらっている。	※	

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	入所者の希望に添って、その日の内に話し合い迅速な対応を行っている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	利用者と職員が、一緒に座りゆっくりお話を聞いている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食事の時間以外は、一人一人のペースで暮らしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員が支援することで、生き生きした表情が見られるようになり、介護度が軽くなった。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の話の中から、行きたいところを聞き、近所や買い物はその日に、その他はほぼ1週間以内には出かけるようにしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	常勤の看護師がおり、入所者の健康管理を行っている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その時々利用者の状況に応じて、柔軟に支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	ご家族の訪問時や、家族会の時にご家族と面談を行い、その時々不安や困っていること、望んでいることを良く聞き介護に反映しており、信頼関係を築くことが出来ています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	ご家族や、なじみの人（以前の住居のご近所の人）などが、訪問したい時間に訪問してこられている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ②少しづつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議により地域の方が、グループホームを理解され、お祭りや猪子など地方の行事に誘ってくださるようになってきている。
98	職員は、生き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員と利用者の笑顔が絶えない。職員は利用者とともに無心に遊ぶことが出来ている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者からの、良かったという声が多く、おおむね満足していると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ②家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	ご家族と職員が、心の内を話し合うことが出来ているため。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価) 毎日の余暇活動を、個人に合わせたメニューで行っている。

1日3回の食事は、利用者とは相談しながら、職員が作っている。

医療機関との連携を密に行っている。

(別表第1の2)

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
**“愛媛県地域密着型サービス評価”**

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 医療法人 仁明会 グループホーム はとり

(ユニット名) 3階

記入者(管理者)  
氏名 原文香

評価完了日 平成19年5月30日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)楽しく、健やかに、自分らしく暮らす、事を理念として運営を行っていますが、散歩などで毎日外には出ますが、地域の方たちとの交流が、少ないように思います。 (外部評価) ドーナツ化現象により住民の少ない街中のホームではあるが、地域の中で利用者がこれまでの生活を続け、その人らしく暮らしていけるよう願う管理者の思いが込められた理念である。	※	今後は、地域の盆踊りやバザーだけでなく、その他の行事（お祭りや猪子など）にも参加出来るようにしたいと思います。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)職員間で、理念を共有し日々実践出来るように取り組んでいます。 (外部評価) 玄関に掲げられた理念を出勤の度に確認し、全職員で共有している。また、この理念を利用者の意向に沿うサービスをすることで実践している。	※	より自分らしく暮らすことが出来るように、努力していきます。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 理念を、玄関に掲示して、家族や地域の方にも理解してもらえるように努力している。	※	訪問者の目につきやすいように、玄関正面に運営理念を掲示して、説明を行っている。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価)近隣の人たちと挨拶を交わし、気軽に立ち寄って頂けるよう声かけを行っている。	※	地域の自治会長さんや住民の方に理解して頂けるよう、声かけを行っている、近隣住民の少ない地域なので、今後も努力していきたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価)自治会、老人会に声かけて、校区の盆踊り大会や住民バザーに、できるだけ参加している。 (外部評価) 町内会に加入し、地域のお祭りでは子ども神輿などが来ている。事業所では夏祭りを開催し、広告を貼り出して地域の方々にも参加してもらっている。	※	今後も、地域の一員としての役割を担っていくようにしたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 昨年は、夏祭りを事業所内で開催し、地域の方に足を運んで頂いた。	※	地域の方も参加できる事業所主催のイベントを作り上げていきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) グループホーム連絡協議会の相互評価事業に参加して、具体的な改善に取り組んでいる。  (外部評価) 外部評価は今回が初めてであるが、その意義を理解し、積極的に取り組んでいる。自己評価については、職員の意見を聞きながら、管理者と計画作成担当者でまとめているが、職員の理解が十分とは言えない。	※  ※	外部評価事業・相互評価事業・家族会などでの様々な評価を生かして運営を行っていききたい。  全職員で自己評価に取り組むことができるようミーティング等で評価項目について研修し、次回の評価では全職員で自己評価に取り組み、事業所の質の向上に活かせるよう期待する。
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議での話し合いを参考にしサービス向上に取り組んでいる。  (外部評価) 運営推進会議では事業所の理念やサービス方針、利用者の状態やホームの活動について報告し、メンバーに地域とのつながりを密にするための案を考えてもらっている。ただ、2か月に1回開催する予定にしているが、メンバーの日程調整等で開催が遅れがちになっている。	※  ※	もっと頻回に、運営推進介護を設けるようにしたい。  事業所の夏祭りに参加していた近所の方にもメンバーに加わってもらい、地域とのつながりを密にしていく予定である。また、定期的に開催できるよう日程を組むことを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) ほとんど運営推進会議での連携になってきているが、わからないことは市役所と相談しながら運営を行っている。  (外部評価) 市役所の担当窓口で事業所の運営面での相談に乗ってもらっている。	※	市役所の職員の方との連携を密にして運営を行っていききたい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 権利擁護事業や、成年後見制度についての研修に参加して、必要な方にはそれが活用できるように、支援をしている。	※	本人や親戚の方からの相談を受けた場合には、権利擁護事業や、成年後見制度の説明を行っている。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 事業所内や利用者の自宅で虐待が起こらないよう注意している。	※	虐待について、もっと職員間で学習の機会を持ち、小さな虐待も見逃さないように介護を行いたい。

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)契約に関しては、重要事項説明書を利用して十分な時間をかけて説明を行い、理解をされてから契約を行っている。	※	今後も、本人家族が納得できるような説明を心がけるように致します。
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)利用者の意見、不満、苦情を話しやすい雰囲気を作っている。	※	面会の制限なく、外部の方も積極的に受け入れを行っております。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価)家族の訪問の度や、状態や健康に変化のあったときにその都度状況報告を行い、金銭管理に関しては、月1回の精算時に家族に対して報告している。 <small>(外部評価) 家族等の面会が多いので、その都度利用者の暮らしぶりや健康状態について報告している。金銭管理については月1回報告しており、面会の少ない家族等の場合も、事業所に来てもらって報告している。また、行事の写真等も居室に飾ったり、郵送したりしている。</small>	※	今年度は、ご家族に対して、定期的な月間報告が出来るように努力していきたい。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)重要事項説明書に、苦情の申し立て先を明示していつでも苦情の申し立てが出来るようにしている。 <small>(外部評価) 重要事項説明書に、苦情等の申し立て先を事業所内と外部に分けて明記している。また、家族会を度々開いて、家族等が意見を話しやすいよう配慮している。</small>	※	家族等の意見を反映するために、御意見箱の設置を検討しております。
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎朝の申し送り時に、ミーティングを行い職員の意見や提案を聞いている。	※	定期的に行われていた、ミーティングが、不定期になってきているため、今後全職員の意見を聞くことが出来るよう機会を設けたいと思っています。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)勤務対応があった度に職員間で話し合っているが、きちんとした書類で残していないため、きちんとした書類を作成するように努めます。	※	職員の自己都合による急な退職のため、調整した勤務体制が崩れており、ベストの状態に戻せるように努力していきます。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)利用者がなじみの職員に介護を受けられるよう、職員の異動は出来るだけ避けて、離職も避けられるような努力(職員が働きやすいような)勤務を心がけております。 (外部評価) 職員の異動は出来るだけ避けるよう努めているが、やむを得ず職員の離職等があった場合は、担当していた利用者へのダメージを防ぐため関りを多く持つよう配慮している。	※	外部評価直前に職員の急な離職があったため、出来るだけ利用者へのダメージがないようにその人の担当の利用者へ配慮している。
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)職員が必要な研修を受けられるように、また、職業能力の開発が出来るように所内、所外の研修に出席できる機会を作っています。 (外部評価) 事業所開設前に1か月間、認知症高齢者の介護について研修し、事業所外のホームで実習している。また、新しい職員にはマンツーマンで働きながら技術等を身につけさせている。職員からの研修受講の希望が少なく、研修報告は、資料と口頭によるものである。	※	職業能力開発推進者を任命して、職員の能力開発に努める所存です。
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)愛媛県グループホーム連絡協議会に入会し、相互評価事業など地域の同業者と交流する機会を持っています。 (外部評価) 県グループホーム連絡協議会に加入し、相互評価事業に取り組んでいる。その評価を受けて、家族会を結成している。また、研修にも参加し、情報交換しながら他ホームの良いところを取り入れている。	※	今年度も、グループホーム連絡協議会に入会しており、引き続いて地域の同業者とともに質の向上を図る所存です。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)親睦会を行い、職員の親睦に努めている。勤務希望を聞くなど、勤務に関するストレスを軽減できるように運営を行っているつもりですが、開設者や、管理者にわからないストレスを発見できるように工夫したい。	※	職員の、ストレス軽減に対する取り組みを今後考えていきたいです。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)職員の努力や向上心に対しては職員全員に平等に機会を与えるようにしている。	※	



自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)本人の話を聞いているが、今まで以上に話すことの出来る機会を持つように努力いたします。	※	入所前訪問を、一回だけでなく必要があれば数回もち、本人の求めていることがわかるように努力していきます。
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)相談から利用までに利用者家族と、十分な面談をもち受け止めることが出来るようにしたいと思います。	※	利用者、家族との面接の機会を必要に応じて増やすように努力致します。
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)最初の本人面接時に本人の状態把握を行い、本人により必要なサービスを検討致します。	※	
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)入所を拒否される方には、事前に何度も来所して入所を納得して頂き、だまして入所することのないように、工夫している。  (外部評価) 利用の相談を受けた際には自宅を訪問して話を聞いている。そして、利用者と家族等がホームに来て面談や見学をしている。入居を拒否される方には、何度も納得がいくまで通ってもらっている。	※	利用希望の方には、ホームに何度も遊びに来て頂けるように努力致します。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)入所者の方と一緒に日常生活を過ごしながら、お正月の飾り付けや地方の風習など、お年寄りの知っている知識を教えて頂いている。  (外部評価) 職員は、利用者に手伝いを頼んで、その後お礼の言葉をかけている。一方、利用者も職員にいたわりの言葉をかけて、職員に元気を与え、共に笑顔で楽しく過ごしている。	※	利用者さんのできることは、行って頂き、教えて頂くようにもっと努力致します。
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)家族への声かけを頻回に行い、ともに介護を行う事の出来る関係を築くように工夫します。	※	訪問の少ない家族に向けて、一緒に支援が出来るように家族会などの機会を多く持ち、家族の気安い雰囲気作りを心がけます。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価)本人と家族の関係修復のため、理解し合えるような機会を作りたいと思います。	※	家族との関係の薄い、又は悪化している利用者、家族に向けて会う機会を持つようにし、関係修復に努めたい。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)本人の会いたい人に会える様に援助を行います。会いたい人の名前などを家族にお知らせして会うことができるように助言しています。	※	なじみの人や、場との関係の持続が難しい状態ですが関係の持続が出来るような援助を心がけます。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価)利用者同士の関係を把握し、孤立することのない様職員が関係調整を行っている。	※	ほとんどの利用者同士は、いたわり合い支え合いが出来るようになってきました。しかし、認知症の進行のため徐々に他の利用者との関係維持が難しい方が出てきており、引き続いて関係調整の努力を行います。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価)サービス利用終了後も、ご家族への相談や助言など出来る事は行っている。	※	

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

#### 1. 一人ひとりの把握

33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)どのような場面でも、本人に選択、決定を行ってもらうよう努力している。	※	今後も選択の幅を広げ決定は本人に行ってもらえるような介護を行っていきます。
			(外部評価) 利用者の希望や意向について、気づいた時には業務日誌に書いて申し送りしている。希望の表出の難しい利用者については、家族等から聞いて把握している。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)入所前のケアマネージャーや、家族から本人の暮らし方や趣味などを聞き取り経過の把握を行っています。	※	経過の把握が行えていない方もいるため、把握できるように努力致します。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)各担当の介護者を決め、ケアマネージャーや、他の介護者とも相談しながら介護計画を立て、家族訪問時に家族からの意見を聞き、本人確認を行って介護計画を作成している。 (外部評価) 入居後、きめ細かなアセスメントシートを作成し、介護計画に活かしている。利用者ごとに担当を決めて、担当者と計画作成担当者が相談して介護計画を作成し、利用者と家族等に意見を聞き、同意を得ている。	※	担当者が責任を持って、その方のよりよい介護計画を立てることが出来るように努めている。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)認知の進行や、体調に応じてケアプランの変更が行われている。 (外部評価) 1週間ごとに、担当者が他の職員の意見も聞きながら介護計画の評価をしている。最初は1か月ごとに見直しをしていたが、現在は3か月ごとになっている。ただし、状態変化のある時には随時見直ししている。	※	
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)毎朝の申し送り時に、ミニケースカンファレンスを行い、情報を共有して実践している。	※	今後も記録の充実を図ります。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)併設のデイサービスの行事に参加させて頂いている。退所後の処遇などについては、併設の居宅支援事業所と相談を行っている。 (外部評価) 併設のデイサービスセンターで催される演奏会を聴きに行ったり、リハビリ、マッサージ等している。退居の際には併設の指定居宅介護支援事業所と相談して、退居後の支援をしている。	※	利用者がよりよい環境で暮らすことが出来るように、出来る限りの援助を行います。

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価)必要時は連絡を取り、各機関から訪問して頂き協力しながら支援している。	※	ボランティアも来て頂けるように声かけを行っている。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価)小規模多機能ではないため、他のサービスは利用しておりません。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価)権利擁護対象者の判断をして必要があれば、協働しております。	※	ホームの運営推進会議に、地域包括支援センターからの出席をして頂き、協働しています。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価)月1回の往診と定期投薬の受診支援を行っています。  (外部評価) 基本的に通院介助は家族にお願いしているが、隣接の法人病院への通院介助はホームでしており、家族の希望があればかかりつけ医を法人病院に変更している。整形外科や眼科など他の病院へは家族に付き添ってもらい、受診の報告を受けている。また、月1回法人病院医師の往診もある。	※	体調不良時には受診の介助も行っております。
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症の悪化進行があれば受診を行うように、支援している。	※	
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)各ユニットに看護職員がいるため、毎日の管理が出来異常の早期発見が出来ている。	※	必要な方には、認知症専門医からの、訪問看護も受けております。
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 医療機関と連携しており、出来るだけ早期に退院できるように協働している。	※	医療機関からの訪問看護を受け入れ、ホーム内で治療の継続が出来るようにしている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化や終末期に関しては、治療の必要な状態でない限りホームで過ごせるように家族会で報告している。  (外部評価) 看取りに関する指針を医師である運営者と、管理者及び職員が共有している。現在終末期の利用者もいるが、家族に看取り介護について説明し、話し合い、本人と家族の希望に応じている。利用者の状態変化がある度に家族に報告し、その都度今後の方針についての意志を確認している。	※	終末期の方もおり、かかりつけ医、家族、職員全員で方針を共有している。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 入院時期の見極めを行い、受け入れ先を決定してあわてることなく対処が出来るようにしている。	※	
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 退所にあたっては、本人、家族の希望を踏まえ、担当ケアマネージャーと綿密に連絡を取りながら、退所に向けての援助を行っている。	※	他の施設の相談員との連携を図っていきたい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	(自己評価) していないと思います。  (外部評価) トイレ誘導はさりげなく行っている。居室に入る時も利用者の了解を得るようにしており、拒否された利用者の居室へは入室していない。	※	外部評価を行って頂き、ホームの運営が独善的な物になっていないか検討を行って頂きたい。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者にはわかるように説明を行い、自分で決定して頂いています。	※	

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 毎日その方の希望を聞きながら介護を行っている。  (外部評価) 利用者の希望を尊重し、出来るだけ早く希望に添えるよう対応している。利用者も入居前より笑顔が増えている。	※	今後も、その方がその方らしく暮らすことが出来るように援助していきたい。
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価)月1から2回のボランティアと、家族対応でなじみのお店に言っている。	※	買い物で、本人の希望する衣服の選択購入援助を行っている。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)献立に気をつけて、利用者と相談しながら献立作りを行っている。  (外部評価) 1週間分の献立を立てているが、利用者の希望があれば臨機応変に変更して希望に応じている。咀嚼力の落ちている利用者には刻み食で対応している。また、食材の下ごしらえや台拭き等、できることをしてもらっている。	※	調理面では出来る方が少ないため、台ふきや食器の移動、食材の下準備を行ってもらっている。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価)飲み物、おやつなどは本人の好みを聞き日常的に楽しめるように援助しているが、タバコに関しては、敷地内禁煙にしているため利用して頂いていない。	※	水分補給は、希望を聞き、飲み物の種類を用意するように心がけている。
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価)排泄チェック表を利用して、本人の排泄パターンを把握し、おむつしよすが無くなるように援助をしている。	※	トイレ移動の可能な方は、トイレを利用して頂き気持ちよく排泄が出来るような援助をしています。
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)当初は毎日希望する時間帯に援助していましたが、入所者が待たなくなり、朝から入浴希望を出される方もいるようになり、時間が早くなりました。冬季になり皮膚の油分の取り過ぎから掻痒症となる方が増えましたので、現在は原則週3回希望者は毎日の入浴にしております。  (外部評価) 介護度の高い利用者が多いが、入浴台を浴槽の両側に隙間なく置き、手すりを縦横に付け、職員介助で一般浴を楽しんでいる。入浴時間帯は決めておらず、希望する時間に入浴できるよう支援している。	※	夏季になれば毎日の入浴も再開する予定です。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)各部屋個室なので、本人の自由な時間に休息することが出来る。	※	夜間は、安眠できるように静かな環境と、室温の調整を心がけております。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)本人の楽しみごとを見いだし、楽しく暮らすことが出来るような援助を心がけております。  (外部評価) 花の水遣り、食事の準備等できることをしてもらい、感謝の言葉を伝えている。以前出来ていたことが出来なかった時にもプライドを傷つけないよう配慮している。レクリエーションで歌ったり、塗り絵をしたり、花見や地域行事への参加を楽しんでいる。	※	レクリエーションで、カラオケ、音楽療法などほりのある生活支援をおこなっています。
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)買い物に行けるレベルの方は、家族よりお金を預かり好きな物を買に行けるように援助している。		個別に金銭出納帳をつけている。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)本人より外出希望があれば、その日の本人の状態を看護師が判断して外出援助を行っている。  (外部評価) 毎日、近所の公園へ車いすの利用者も一緒に散歩に出かけている。時には、足を伸ばして今治城まで出かけることもある。また、希望があれば食材の買出しや必要な物の買い物に車で出かけている。	※	毎日の近所への散歩を行っている。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 季節毎に梅見やお花見、瀬戸大橋の観光など家族も誘って行くようにしている。	※	頻回に行けるようにしたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) かかってきた電話の取り次ぎや、本人の希望があれば電話をかけることの援助を行っている。	※	

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会制限をなくしており、いつでも自由に入出入りできている。お茶の時間には、訪問者とともにお茶を楽しむことが出来るように援助している。	※	
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束は全く行っておりません、転倒の危険者には、常に見守りで対応をしております。	※	
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵は夜間9時以降以外はかけておりません。  (外部評価) 日中は鍵をかけていない。利用者の出入りは1階デイサービスの職員が見守りをして連絡している。夜間9時以降は鍵をかけて、外部のセキュリティで安全を確保している。	※	
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 目の届きやすい建物の構造になっており、見守りで安全が確認できている。夜間は定期的な巡回を行い安全確認に取り組んでいる。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意に必要な物は、事務室や倉庫で保管している。手指消毒薬など日常的に必要なものは、各洗面所に配備して安全管理に努めている。	※	
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 各個人に合わせて、カードックスに記入し事故防止に取り組んでいる。	※	ケアプラン上に取り入れている。
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 救急時の連絡方法を徹底している。	※	年に何回か予定を決めて訓練を行いたい。




自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の指導者と避難訓練消火訓練を行った。  (外部評価) 各階2か所防火扉があり、利用者の誘導について消防署から指導を受けている。電化調理器具の使用や全館禁煙により、火気取り扱いに注意している。消防署の指導のもと、利用者と一緒に避難訓練を実施している。夜間対応マニュアルを作成し、法人関係者の協力を得る体制にしている。	※	消防署の防火デーに合わせて、利用者も一緒に避難訓練を行っている。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 日頃の変化を家族が来所した都度お話しし、起こりえるリスクについても検討している。	※	リスクマネジメントの研修を受けているが、これをもっと活用して介護を行いたい。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日検温を行い、本人の状態を確認して、変化があれば主治医の指示を仰いでいる。	※	
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬剤情報をカードに貼付し、全職員がお薬の情報についてわかりやすいようにしている。	※	看護師が、薬剤管理を行い、必要時は、病院より薬剤師が指導に来ている。
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄が便秘薬に頼ってしまわないように、寒天・ヨーグルト等を利用して排泄がスムーズに行くように援助している。	※	食材を利用した排泄管理に気をつけている。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 声かけ誘導にて、毎食後歯磨きが出来ている、夜間は、ポリデント洗浄を行っている。	※	歯磨きの出来ない方は、ハミングッドなどを利用して口腔内の清潔に努めている。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量チェックを毎回行い、脱水にならないように1日2回の水分補給時間を設けている。  (外部評価) 栄養バランスやカロリーは、職員の中に栄養士がおり、大体把握できている。糖尿病の利用者については、法人病院の栄養士に時々カロリーチェックしてもらっている。摂取量は毎食記録し、水分確保のために食事に汁物をつけたり、食事以外に2回間食を取っている。	※	希望に応じて、水分提供を行っている。また、糖尿など食事制限のある方の食事、血糖や体重を見ながら調整している。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 手すりの消毒、調理前の手洗いの励行と消毒を行っている。 インフルエンザの予防接種を職員利用者に徹底して行った。また、ノロウイルス予防を利用者・職員・外部からの訪問者に対して徹底し施設内で感染例はなかった。	※	お風呂のお湯は、1人ずつ交換して感染の予防に努めている。今年度は感染対策委員会を立ち上げる予定である。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 毎日、買い物に行ったり、八百屋や肉屋・魚屋を利用して新鮮な食材を届けてもらって、新鮮な食材の確保を行っている。	※	今後は、利用者の皆さんと外食も行いたい。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関、玄関周りは家庭的な雰囲気になるように努力しているが、建物の構造上生活空間が2階3階のため、とまどわれる方もある。	※	
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節に応じた、派手すぎない装飾を心がけている。  (外部評価) 併設の1階サービスとは別の玄関で、家庭的な設えで、きれいな花が飾られている。テレビの前に長いソファが置かれ利用者が居心地よく座っている。男性用のトイレをつけて家での生活習慣にも配慮している。全体的に明るく、壁面には季節を感じさせる装飾を施している。	※	今後も、季節季節の花鳥風月を装飾していきたい。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) たたみの部屋があり、気のあったかたで過ごせるように配慮している。	※	
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家族が本人の使い慣れた物を持ち込んで、本人の好みに合わせた、レイアウトにしている。  (外部評価) 寝具を好みの色にしたり、動物の好きな利用者の居室には、猫のぬいぐるみが飾られている。また、歩行訓練の必要な利用者の部屋には押し車が置かれている等、一人ひとりに合った居室になっている。	※	室内装飾も、本人の希望で行っている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 気温に応じて、空調の管理を行い、1日1回は窓を開けて換気を行っている。建物の構造上換気扇による24時間換気を各部屋につけ、空気のだよみや臭気対策を行っている。	※	
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 建物はバリアフリー構造で、車椅子の方や足腰の弱い方も安全に生活が出来るように手すりも要所要所に付けている。	※	部屋の戸は全て釣戸の引き戸で少しの力で軽く開くようになっている。夜間は廊下灯が自動で点き安全に移動が出来るようになっている。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 部屋の入り口に花の模様の表札を付け、自分の部屋がわかりやすいようにしている。	※	わからない方には、大きく名前を書いたり、目印になる人形を付けたりしてわかりやすいようにしている。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 各階ベランダや建物の周り、建物裏の花畑等にプランターを置き利用者さんに当番で、水やりを行ってもらっている。	※	

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己 ①ほぼ全ての利用者の 評価) ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	入所者の希望に添って、その日の内に話し合い迅速に対応している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己 ①毎日ある 評価) ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	利用者と職員が居間で一緒にゆったりと過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人一人のペースを大切に、一日を過ごしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員が支援することで、生き生きした表情が見られるようになり、問題行動が軽減した。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の希望を聞き、外出を行っている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	常勤の看護師と准看護師がおり、入所者の健康管理を行っている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の状況に応じて、柔軟に支援を行っている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく (自己 ①ほぼ全ての家族と 評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	ご家族の訪問時や、家族会の時にご家族と面談を行い、その時々不安や困っている事、望んでいることを良く聞き介護に反映しており、信頼関係を築くことが出来ている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己 ①ほぼ毎日のように 評価) ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	毎日ご家族が、またなじみの人が訪問したい時間に尋ねてきている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ②少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議により、地域の方が、グループホームを理解されお祭りや猪子など地方の行事に誘ってくださるようになってきている。
98	職員は、活き活きと働いている	①ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日笑顔で働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日穏やかに過ごすことが出来ている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ②家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族から不満を訴えられることがほとんど無いため。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

毎日の余暇活動を行っている。

1日3回の食事は、利用者と相談の上、施設職員が作り、だしは天然出汁をとって調理している。

医療機関との連携を密に行っている。